



活動報告

県教育委員会への要望が実現!

■ 県央に新校設置が決定!

近年、養護学校に入学を希望する児童・生徒数が増加する傾向にあり、各養護学校では定員数を超過して受け入れを行っています。

■ 恒常的な過大規模化が問題に!

これにより教育現場では、子どもの居場所を確保するために音楽室などの特別教室を普通教室に使用したり、余裕空間の不足によって興奮状態になった生徒をクールダウンするためのスペースを確保することが困難な状況になっています。

県教育委員会では、問題解決のために新校舎の建設や分教室の設置を実施してきましたが、十分な対応とは言えず根本的な問題・課題の解消に至っていませんでした。こうしたことから、私を含め多くの議員が本会議での質問や委員会での質疑の中で養護学校における教育環境の改善を求めてきました。

■ 問題解消に大きな期待!

平成23年度予算では、県央地域の環境改善のため海老名市内に新校の設置計画が示されました。定員200名規模の新校が開設すれば、様々な問題の解消につながるものと大きな期待が寄せられています。

また、座間養護を含めた4校に送迎バスの増車方針が示されており、従来から送迎バスの長時間乗車が問題となっておりましたので、児童・生徒をはじめ家族への負担軽減につながると歓迎されています。

今後も学校の先生や保護者との意見交換の場を定期的実施し、教育現場の問題・課題の把握につとめ、教育環境の改善に尽力いたします。



県政トピックス

第1回かながわ地球温暖化対策大賞 「プロロジスパーク座間(特)」が大賞受賞!

「かながわ地球温暖化対策大賞」は、平成21年7月に制定した、神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づいて温室効果ガスの削減に具体的に寄与する優れた取組みをされた企業、団体、その他法人及び個人の方を表彰するもので、今回が第1回の表彰となります。

■ 今回は15の受賞者が決定!

表彰の対象は、温室効果ガス削減実績部門と技術開発部門の2つの部門があり、建築物の新築等において他の模範となる特に優れた取組みや先進的な取組みを行い、顕著な削減実績を挙げた方、もしくは今後確実に効果が期待できる方が対象となっています。また、技術開発部門では、地球温暖化対策技術の開発並びに製品化等に関して優れた取組みを行うことで、他者の温室効果ガスの削減への寄与に実績を挙げた方が対象となっています。

平成22年度の選考は、平成22年9月1日から11月30日まで公募を行い、合計26件の応募がありました。

平成23年1月21日に開催した審査会(委員長は高村淑彦東京電機大学工学部教授)の審査を経て、温室効果ガス削減実績部門10者、技術開発部門5者の計15者を受賞

者として決定しました。

■ 環境性能でSランクの評価!

今回の受賞には、麒麟麦酒(株)横浜工場のガスエンジンシステムの導入や、東京電力(株)神奈川支店の電気自動車の率先導入の他、(株)プロロジスが平成21年5月に座間市内で竣工した賃貸用物流施設「プロロジスパーク座間(特)」が、建物の屋上に県内初のメガソーラー発電を設置し、年間約110万^{キロワット}(一般家庭300世帯分の年間消費電力に相当)を発電すると共に、PC免震構造の採用による建物の長寿命化や外壁の高断熱化による空調の効率化などを実施し、建築物総合環境性能評価システムにおいて、最高ランクのSを受けていることが評価されました。



やまもと俊昭ホームページのご紹介

E-mail ▶ toshiaki@yamamoto-toshiaki.com

県政活動状況は下記ホームページでもご覧になれます。

<http://www.yamamoto-toshiaki.com>

やまもと俊昭

検索

